

新しい台東

新しい台東社
台東区千束2-18-1
7高井方
Tel 67995-0245

台東区、多文化共生へ積極的動き



台東区が、「多文化共生の地域社会を」と積極的に動いています。今年度、多文化共生をコンセプトにしたとくく

区民の自主的活動も広がり

教師の学習会や子ども食堂…

子どもから学ぼう

3月30日、区役所会議室で「外国人とともに暮らすヒントを子どもたちから学ぼう」(チラシ写真)が行われました。区が主催する日本語学校の講師・山藤弘子さんがコーディネーター。「クラスメイトに外国人」が当たり前の学校生活で、大

人より先に共生が進んでいる日本と外国の子供たちの声を聞くという催しです。日本共産党のあきま洋区議も参加しました。

「日本に来て大変だったこと

「心で伝わる」

「学校に来たころは喧嘩ばかりで可哀想だった。なんとかしてあげたかった」。同じく6年生の男子も「言葉はダメでも心で伝わると思うようになった」と発言しました。

言葉の大切さ

インドがルーツの6年生は「自分の気持ち伝えられず、しょっちゅう喧嘩になった」。あきま区議は「小学

校での生活は、子どもたちに大きな心の成長をもたらしてきたことが、手に取るようにわかった。地域では誤解や偏見がまだまだ相当あり、子どものような心のバリアフリーをどうすすめるか。こういう催しを地域、コミュニティ単位で、どんどん開けたらいいなあ、と思った」と話します。

区の「協働事業」

台東区が支援する協働提案事業は2つ。一つは、区内の小中学生が地域で暮らす外国人子どもたちと教育とを軸にしたドキュメンタリー映画の制作を通じて、多文化共生への理解を深める取り組み。もう一つは、ゲストハウスのカフェスペースを外国人と日本人が相互交流できるスペースとして活用する事業で、5・6月に浅草橋で開かれます。

区民の自主的な動きも広がっています。都教組台東支部と子どもと教科書台東ネットワークが共催し、4月23日、東上野区民館で「外国にルーツをもつ子どもたちと教育」という学習会が開かれます。浅草橋のキリスト教の教会が、外国人の子どもが参加する子ども食堂を開く動きも進んでいます。

区議選を闘って②

区民の生活に寄り添って 区議会議員 伊藤のぶ子



2期目送り出していた皆さま、安倍政権による区民の暮らしを苦しめる消費税増税には目を厳しいよ。油断したら危ないよ。」と轍を頂き、身をこめて臨みました。

安倍政権による区民の暮らしを苦しめる消費税増税には目を厳しいよ。油断したら危ないよ。」と轍を頂き、身をこめて臨みました。

国民保険料の連続しての値上げにストップをかけ、一人1万円の引き下げをの政策は、保健福祉委員としても心を込めて訴

えました。

社会保障の充実が必要です。公平性とよく言われますが、消費税にしても、国保料にしても低所得者に負担の重い不公平税制のものでもありません。また、区民の声を区政に届けることを大切にしてきました。

区民の要求である、めぐりんの無料パス、高齢者でも使えるリフォーム助成制度などの訴えに多くの期待の声をいただきました。

私は台東区が区民の生活に寄り添う自治体になるよう、公約実現のために頑張っています。

休日診療当番医

◆ 4月7日(日)

《内科》 菊嶋クリニック	蔵前3-13-13	(3851)3281
《内科》 桜木内科クリニック	上野桜木1-10-11	(3827)8401
《歯科》 山本歯科医院	寿1-1-3	(3844)7553
《薬局》 薬局ユアーズ	蔵前3-13-13	(3851)4193
《薬局》 オーラム薬局	上野桜木1-10-11	(5842)1454

☆診療時間は、内科 9～22時、歯科 9～17時です。
☆こどもクリニックは、9～22時 永寿総合病院 小児科医が診察します。